

仕事と生活の調和に関する意識調査（ダイジェスト版）

千葉市男女共同参画センターでは、「仕事と生活の調和に関する意識調査」を実施しました。本調査では、仕事と家庭の両立に関する市民の意識と実態を探り、男女共同参画社会実現のための施策や事業に反映させることを目的とします。

* 調査の対象	千葉市在住の25歳以上45歳未満の男女各1,500人（無作為抽出）
* 調査の方法	郵送配布—郵送回収法
* 調査の期間	平成24年8月23日～平成24年9月7日
* 回収の状況	有効回答数：916件（有効回答率：30.5%）

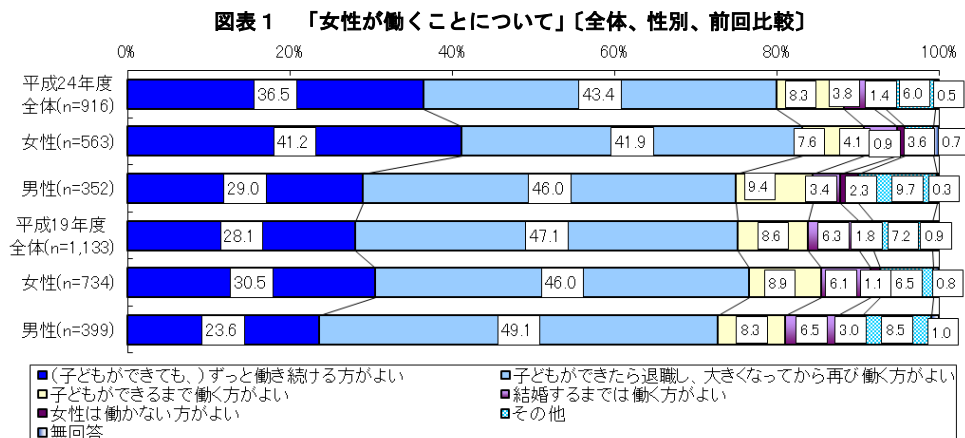
注1) %は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しているため、%の合計が100%にならないことがあります。

注2) グラフは、内容に応じて、抜粋したものを掲載しています。

1. 女性が働くことについて

前回調査と比較すると、全体、女性、男性いずれも「継続就労型」〔子どもができても）ずっと働き続ける方がよい〕が増加しています。特に女性では10ポイント以上増加しています。

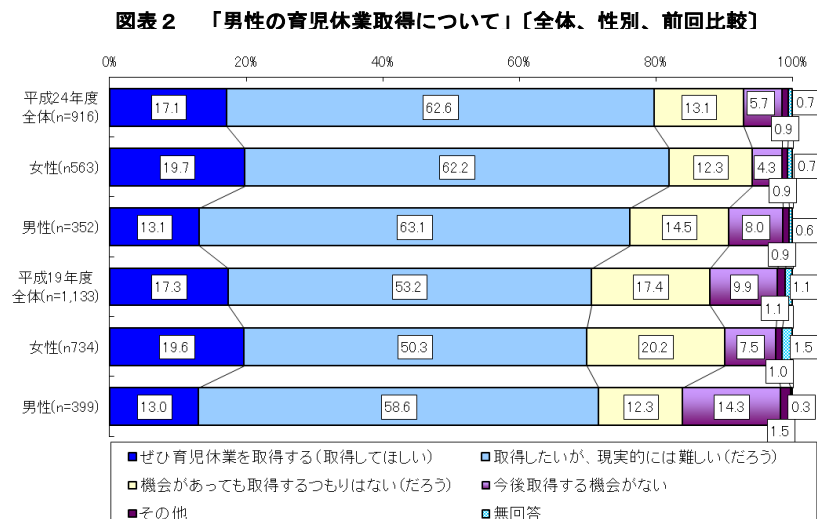
【図表1参照】



2. 男性が育児休業を取得することについて

全体、女性、男性いずれも「取得したいが難しい（だろう）」が6割以上となっており、前回調査と比べてそれぞれ増加しています。

【図表2参照】

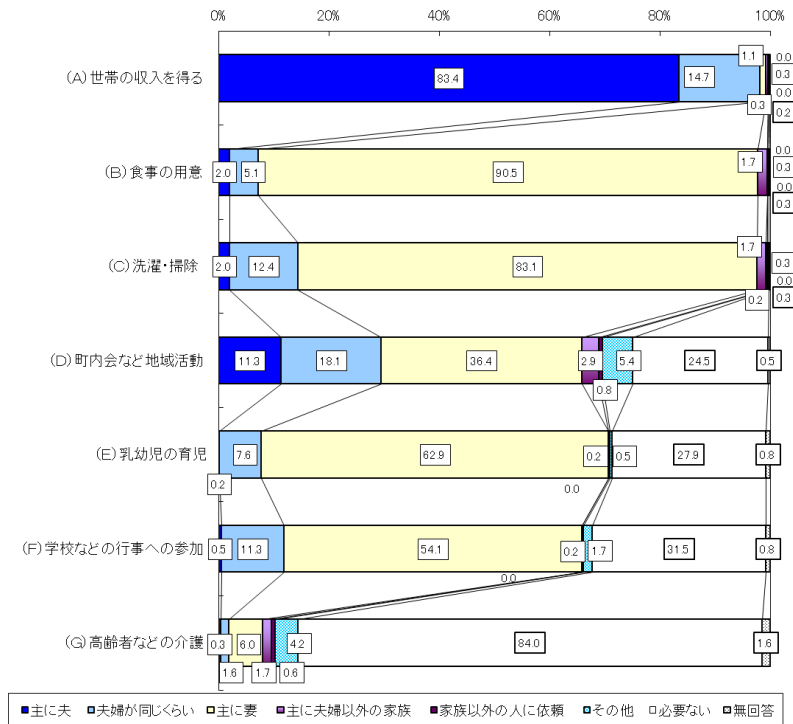


3. 家庭での役割分担について

結婚している人（645人）全体について、男女ごとに夫、妻に再分類して役割分担をまとめると、「世帯収入を得る」では「主に夫」とする人が83.4%と多いが、「食事の用意」「洗濯・掃除」は「主に妻」（順に90.5%、83.1%）が8割を超えています。

【図表3参照】

図表3 「家庭での役割分担」〔結婚しているベース、n=645〕

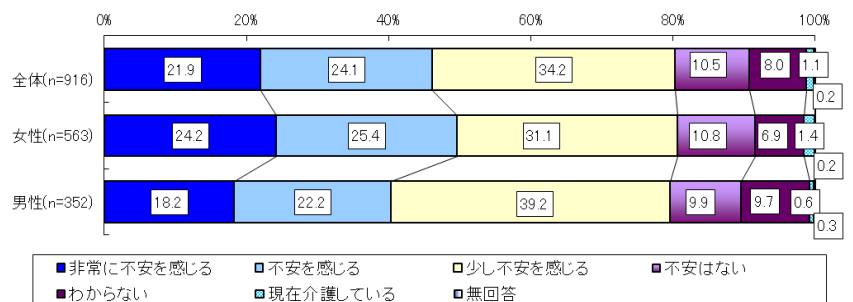


4. 将来介護をする時の不安の有無

約8割の方が「将来親などの介護をすることがあるかもしれないと不安を感じる」（非常に不安を感じる、不安を感じる、少し不安を感じるを合わせた割合）と回答しています。

【図表4参照】

図表4 「将来介護をする時の不安の有無」〔全体・性別〕

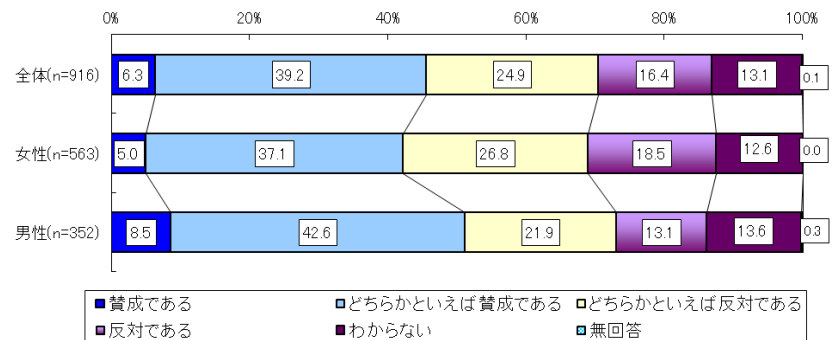


5. 性別役割分担意識について

「男性は仕事、女性は家事・育児」という考え方について、「賛成である」が4割半、「反対である」が4割強で、大きな差はみられません。

【図表5参照】

図表5 「性別役割分担について」〔全体・性別〕

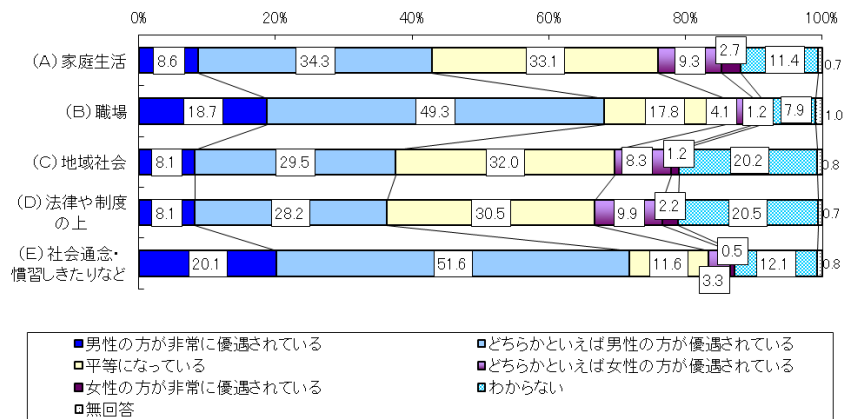


6. 各分野の男女の地位

5つの分野全てで、“男性の方が優遇されている”の割合が“女性の方が優遇されている”より高くなっています。特に「社会通念・慣習・しきたりなど」や「職場」では、“男性の方が優遇されている”が7割前後となっています。

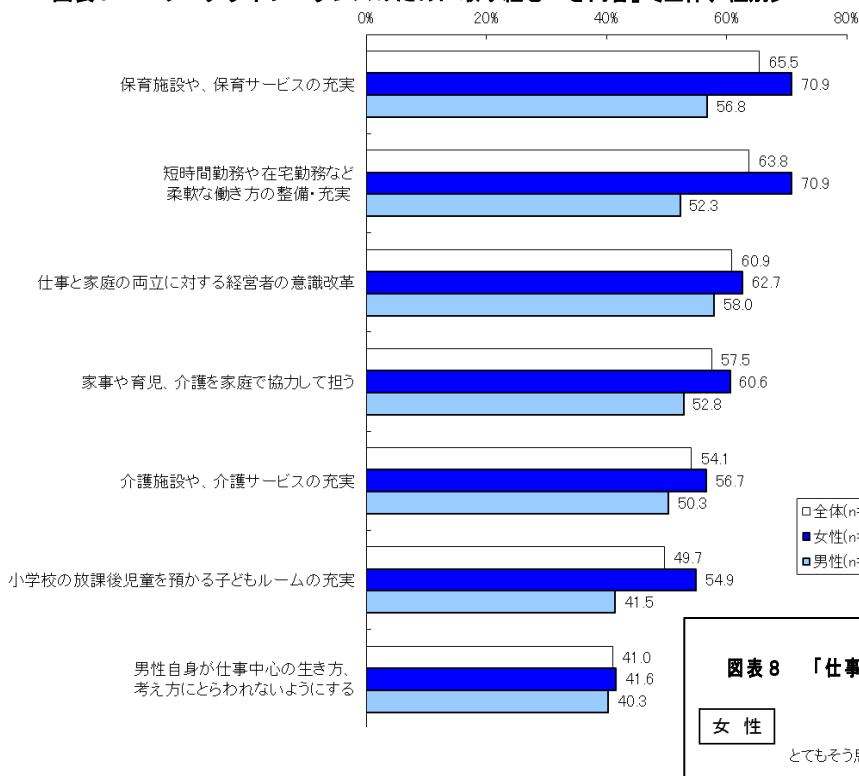
【図表6参照】

図表6 「各分野の男女の地位」



7. ワークライフバランスのために取り組むべき内容

図表7 「ワークライフバランスのために取り組むべき内容」【全体、性別】



「保育施設や、保育サービスの充実」が最も多くなっています。「短時間勤務や在宅勤務など、柔軟な働き方の整備・充実」「仕事と家庭の両立に対する経営者の意識改革」が続いています。

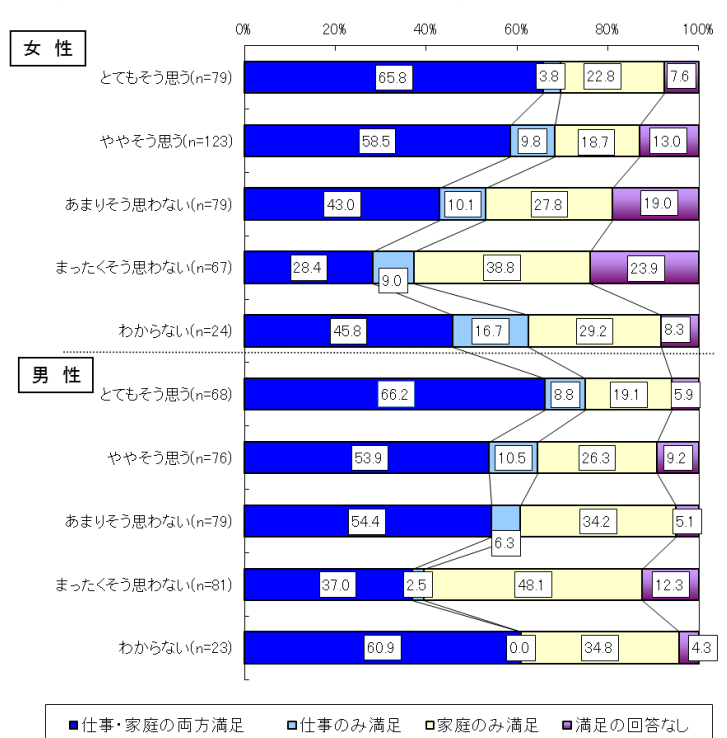
【図表7参照】

8. 仕事・家庭の満足度と柔軟な働き方の整備

男女それぞれを（育児・介護休業制度や短時間勤務など、柔軟な働き方が整備されているか）の回答別にみると、男女ともに、柔軟な働き方が整備されていると感じている人ほど、「仕事・家庭の両方満足」が高い傾向がみられます。

【図表8参照】

図表8 「仕事・家庭の満足度」【性別・（柔軟な働き方の整備）の回答別】



9. 今後に向けて

ワークライフバランスに対する経営者の意識改革に向けた啓発

ワークライフバランスの実現のために今後取り組むべき内容では、特に男性において「経営者の意識改革」が強く望まれている。これは、職場において育児休業を取得しにくい雰囲気があると感じていることなどが反映されていると考えられ、今後、男性の育児休業取得率を高めていくためには、経営者の意識改革が非常に重要となる。企業を対象とした出張講座などをおして、仕事と家庭の両立がいかに大切なことであるかに気づいていただき、理解を深めていただきたい。

性別役割分担意識の解消に向けた啓発

「男性は仕事、女性は家事・育児」といった性別役割分担意識は、全体のおよそ半数が賛成派であり、「女性」よりも「男性」において賛成派が多い傾向が見られた。この性別役割分担意識の影響により家事・育児などの負担が大きく、働きたくても働くことのできない女性が数多く存在する。よって、固定的な性別役割分担意識の解消に向けて、各種事業を実施し、特に男性の意識改革を促したい。

子育て・介護等を支える制度の活用促進

ワークライフバランスにおいて重要となるのが地域で支え合い、助け合うことで安心して子どもを生み、育て、家族等の介護ができることであり、そのために制度の整備は不可欠である。自由記述においても「仕事と家庭の時間のバランスがとても難しい現代の中で、社会全体で家庭に時間をとれるような仕組みになってほしい。子育てや介護に非常に不安を感じている。」など切実な意見が多数寄せられた。こうした声に応えるためには、公共サービスを中心に保育や介護を社会全体で支える法制度を整備・拡充するだけでなく、その活用を促進するための柔軟性が必要とされ、千葉市としても検討課題の一つではないだろうか。

さらに多くの人の意見をひろいあげるための努力

今回の回答者層の既婚率が国勢調査と比較して著しく高いことなどから推測すると、郵送調査は、既婚・正社員の回答率が高い調査である。つまり単身・非正規雇用で働く人等の意見は、十分反映されていないと考えられるため、例えば、今回の調査で満足度が高かった項目について単純に安心することはできないと言える。一方、今回の調査でも満足度が低かった項目については、社会全体の声としてはもっと大きいことが想像できる。今後は、このような調査ではひろいきれない小さな声、多様な声を丁寧にひろいあげていく努力も、行政に求められる課題の一つと言えるだろう。

発行日：平成 25 年 3 月

発行：千葉市市民局生活文化スポーツ部男女共同参画課

千葉市男女共同参画センター 電話 (043) 209-8771